



みやまの風に…

寄の山々に吹く風は、時には強く、時にはやさしく子どもたちを包みます。3月に入り穏やかな気候が、吹く風を心地よくあたたかいものにして给我们にしているようです。子どもたちはこの風にふかれながら、地域の良さを感じ、生活の中に喜びや楽しみを見つけてきました。

毎年繰り返される園での活動も、その年その年の色彩を帯び、決して同じものはありません。卒園式も修了式も当たり前のようにやってきますが、毎年少しずつ、その意味が違ってきます。それは、子どもたちの個性でもあり、教師と子どもたちが創り出してきたものの新しさでもあります。一年の流れはいっしょでも、そこから生み出されるものは決して同じではありません。だからこそ、幼稚園での日々は、こんなに色鮮やかに鮮明な記憶として残るのでしょう。

3月6日に、お別れ会がありました。前号でもお伝えしましたが、作るものを自分たちで考え、自分たちで実際に買い物をし、そして、パンケーキ、ぶどうカルピスゼリー（ももからぶどうに代わりました）づくりが行われました。

パンケーキの形にも、個性が出ていました。四角、丸、ミッキー形、ねこちゃん、お花の形…、それぞれに「おいしくな～れ!」の願いがこもっているようです。

やさしい寄の職員が園長分も用意してくれたので、園長も自分の顔をイメージして焼きました。

「あっ、ピーナッツだ!!」

「園長先生、そっくり!!」

と、子どもたちは褒めてくれました。

ちなみに、私が高校生の時につけられたあだ名が、「ピーナッツ」…。何かとてもなつかしい感じがしました。

焼きあがってからは、トッピング。ここにも子どもたちの個性が出て、応援する方もわくわくしながら観ていました。年少、年中さんも年長さんを見本に様々な活動に挑戦してきましたが、ここでは自分らしさを思いっきり表現していました。

良さを共有しあえる環境、個を伸び伸びと発揮できる環境、豊かな自然、あたたかな地域…。寄の良さが子どもたちの良さにつながり、生き生きと発揮されていることを感じたお別れ会でした。

明日はいよいよ修了証書授与式。

卒園児には、胸を張り、希望をもって卒園してほしいと思います。その姿を一人ひとりの胸に焼き付け、寄幼稚園は、来年度も新しい歩みを続けていきます。



3学期の園景



たこあげ

ビニール袋を使って、たこあげをがんばりました。途中からは町のごみ袋を使うなど、工夫しながら元気いっぱいに動き回りました。

創意工夫のできる伝統的な遊びの時間も大切にしていきたいです。

英語でダンス！！

ハン先生と楽しく体を動かしながら英語を学びました。いろいろな英語が自然と話せるようになってきたね。



フック船長に負けるな！

保育参観発表会

ふだん楽しんでいる遊びやがんばっていることを生かして、みんなでピーターパンの世界を創り上げました。セリフも動きも小道具大道具も自分たちで手作りして、一人ひとりが大切にされ、生かされる寄幼稚園らしさいっぱいの劇となりました。

お別れ会

くるまつくんで自分たちでお買い物した材料を使って、パンケーキ、ぶどうカルピスゼリーを作りました。おいしく食べた後にはプレゼント交換をして、とてもあたたかい雰囲気の中で会は進みました。一人ひとりの心に強く残る時間となりました。

